

東地申 第2号
8月28日 開催

「常磐線特急の車掌乗務体制見直しに伴う運用改正について」の解明申し入れ **2回目 その1**

4. 安全レベルが低下しない根拠を示すこと。

(回答) 車掌が行う運転取扱い業務に支障がないことを確認しており、安全は確保されていると考えている。

主な議論

- (組合) 車掌が行う運転取扱い業務とは何か？
- (会社) 停止位置を確認しドアを開扉、時刻・信号・合図を確認しドア閉扉・出発合図を送ること。および列車防護である。調査期間中、車内巡回を行いながら運転取扱いができていたことから、安全は確保されている。
- (組合) 複数乗務が一人乗務となることによって、安全レベルは低下しないのか？また、向上はするのか？
- (会社) 低下するとは考えていない。また、今施策では向上する要素はないが、めざしていくことは変わらない。
- (組合) 車内業務に気をとられ、取扱いを誤ったことが実際に発生していることへの認識を示すこと。
- (会社) ホームを確認せずに開扉したことが原因である。基本動作の重要性を教育していく。
- (組合) 車内業務によって停車駅でのドア開扉が遅れても仕方ないか？
- (会社) ケースバイケースである。

列車防護係員の役割は変わらない！車内業務に気をとられ、取扱い誤りのリスクが高まる！

5. 79M・85M・89Mについては上野～土浦駅間を二人乗務とする根拠を示すこと。

(回答) 車内での巡回状況やお客さま対応状況などを確認し、乗務体制を決定している。

主な議論

- (組合) 3本の列車について、二人乗務とする判断に至った具体的な車内の状況を示すこと！
- (会社) 上野～土浦間を全車両巡回できない列車であることから、総合的に判断した。
- (組合) 3本と他列車の違いは何か、状況が似ている列車が他にもあるのではないか？
- (会社) 回答は2項と同様である。
- (組合) 3本の列車は、未指定券での乗車や車内での発売が多いのか？
- (会社) 一概に言えることではない。
- (組合) 二人乗務とした3列車の特徴を聞いている！
- (会社) ご利用状況をベースに、車内でのお客さま対応の状況を確認し二人乗務と判断した。



東京支社はなぜ根拠を示さないのか！？示されなければ議論が進まない！

6. 未巡回の車両では車内秩序が低下すると認識しているが、会社としての認識を示すこと。

(回答) 車掌は可能な限り車内秩序維持を目的とした巡回に努めることとなり、今後もこの考えが変わるものではない。

主な議論

- (組合) 可能でない場合、特に「ときわ」の土浦以北では停車駅が多く、巡回できない状況が発生する。
- (会社) 可能な限り巡回し車内秩序を保つ必要はあるが、不可能であれば仕方ない。経営判断である。

その2へ続く